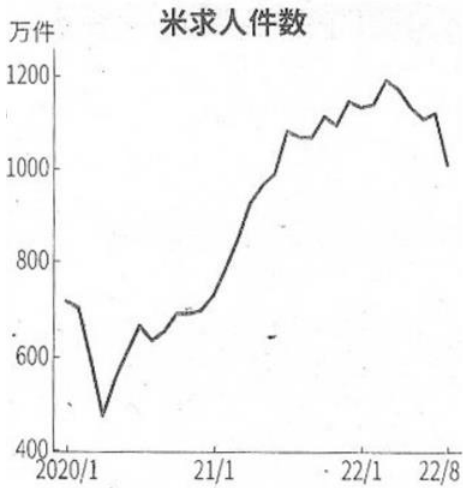


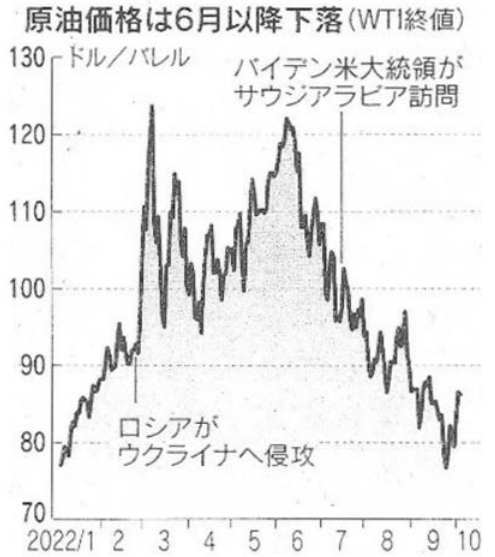
- 10/04・円下落、145 円台 介入日以来 製造業、円安効果薄く 景況感 3 期連続悪化
・首相所信表明 リスキリングに 5 年で 1 兆円 具体策・スピード不可欠
・NY 株反発、765 ドル高 金融引き締め警戒が一服
- 10/05・英減税撤回、政権なお混乱 政界・市場、疑念消えず ポンド一時上昇
・北朝鮮ミサイル日本通過、最長 4600 キロ グラム射程 国際社会の隙突く挑発
・米求人件数 111 万件減 8 月 1005 万件 20 年 4 月以来の減少幅 <1>
- 10/06・原油 200 万バレル (世界需要の 2%) 減産で合意 OPEC プラス <2>
産油国「防衛ライン」80 ドル ロシアと思惑一致 米欧に痛手 バイデン氏「失望」
・プーチン氏「併合」署名 ウクライナ 4 州 原産を管理下に
・ドル高、米で懸念拡大 インフレ抑制効果に疑問 輸入の 95%がドル建て
- 10/07・東南アジアも「倍速利上げ」 インフレ・通貨安止まらず <3>
・実質賃金 5 ヶ月連続減 8 月 1.7%マイナス 物価上昇響く <4>
消費届かぬ「コロナ前」 物価高、強さ欠く購買力
・サムスン 32%減益 7~9 月営業利益 半導体市況が悪化
・外貨準備、最大の減少率 9 月末 4.2% 為替介入、米国債売却か
・「景気後退、世界の 1/3」 IMF 専務理事 経済予測下げ「さらに悪化の恐れ」
- 10/08・米失業率 3.5%に低下 9 月 雇用 26.3 万人増、高水準続く NY 株 630 ドル安
・世界の外貨準備 減少最大 4~6 月 4.1%減 米金利上昇で目減り <5>
ドル 1 強で通貨防衛 縮む危機対応力
・米、半導体の対中規制拡大 先端技術の輸出 事実上の許可制に
・米、EU とのデータ移転に新ルール 不当収集なら調査 情報機関、安保のみに制限
・米学生ローン返済免除「違憲」 共和地盤 7 州が提訴 中間選挙控え論争過熱
- 10/09・クリミア橋で爆発 物流の動脈 ウクライナ関与か
・進む円安 細る外国労働力 ドル建て賃金 4 割減 生活環境改善も急務
建設、看護人材で賃金差縮小 高賃金で英語圏のオーストラリアなどに人材流出
- 10/10・ロシア燃料、インド輸出 5.7 倍 中国 2 割増、中東向けも急拡大 <6>
経済制裁の「抜け道」に ロシアの戦費調達を下支え
・北朝鮮、ミサイル 2 発 未明の発射、2 週間で 7 回

<1>

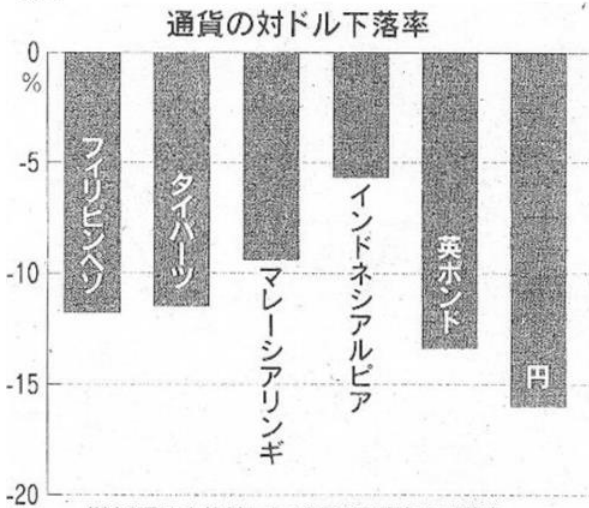


(注) 季節調整済み
(出所) 米労働省

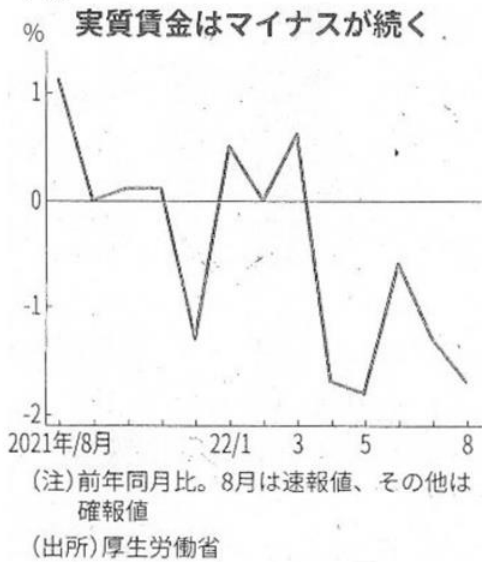
<2>



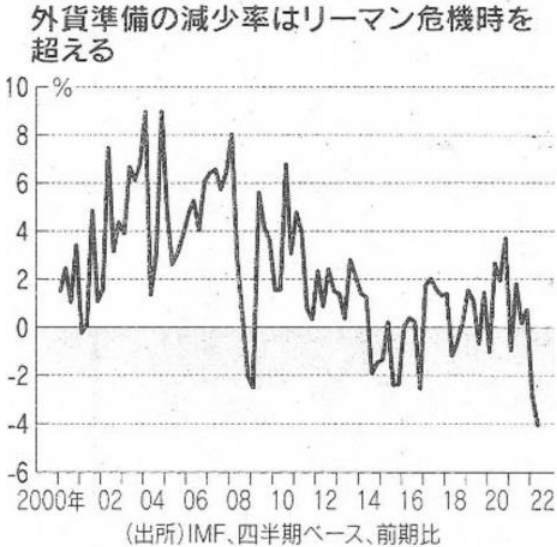
<3>



<4>



<5>



<6>

